

銀行業務検定試験成績結果 ▶▶▶ <第132回>銀行業務検定試験成績発表

税務3級、相続アドバイザー3級が好成績

去る2015年10月25日(日)に実施いたしました第132回銀行業務検定試験の成績結果ができましたので、ご参考までに発表いたします。

法務2級

「法務2級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。
 応募者数7456名中受験者は6,107名で、合格者は1,525名でした。合格率は24.97%、平均点は81.86点で、前回(2015年6月)に比べて、合格率は17ポイント上回り、平均点は0.47点上りました。
 最高点は88点で、寺口優平さん(個人申込)が個人最優秀賞を受賞されました。
 (手形・小切手)の分野が非常に良い結果となっており、〔問題-1〕で択一正答率96.64%・平均点6.64点、〔問題-2〕で択一正答率96.12%・平均点5.56点、〔問題-3〕で択一正答率90.90%・平均点6.64点でした。この理由としては、論点がシンプルだったことが挙げられます。
 (手形・小切手)の分野の平均点は、〔問題-4〕54.47点、〔問題-5〕33.00点、〔問題-6〕34.00点とやや高いものとなっていました。
 一方、(融資)の分野の平均点は、〔問題-7〕4.70点、〔問題-8〕6.63点、〔問題-9〕1.94点、〔問題-10〕2.08点と、全般的に低くなっていました。
 全体的に得点が高かったものの、内容的には、あいまいな記述が散見されました。条文や判例を引用するだけでなく、事例にあてはめて、結論(選択肢の正否)について言及していない答案も多々見受けられます。これは設問に答えたことにならずに、点数は低めとなってしまっています。本種目はアウトプットの能力も問われます。法務知識のインプットだけでなく、どのように記述すれば問題に答える形になるのかを確실히ながら解けていたことが許されます。

〔表-1〕法務2級・業別別成績一覧表 (合格点は50点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

年齢	勤続年数	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計		
応募者数	246	2,684	292	641	2,479	165	264	52	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受験者数	330	3,596	393	8,630	3325	221	354	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受検率	222	2,270	201	490	2,117	132	231	38	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受験率	90.65	84.67	68.60	76.44	85.00	80.00	87.50	73.08	28.57	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
合格者数	100	607	67	104	408	21	55	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合格率	44.84	26.74	33.33	21.22	19.27	15.91	24.81	23.68	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
平均点	46.37	42.64	42.60	39.69	40.41	39.37	41.74	39.61	41.75	0.00	39.22	42.56	43.65	39.22	42.56	43.65	39.22	42.56	43.65	39.22	42.56
年齢	26.1	31.5	25.9	37.2	37.3	29.8	34.7	29.3	30.3	0.0	45.4	32.0	31.4	32.0	45.4	32.0	31.4	32.0	45.4	32.0	
勤続年数	3.1	8.6	12.5	13.9	14.2	16.6	14.4	9.9	3.8	0.0	23.9	9.0	11.4	9.0	11.4	9.0	11.4	9.0	11.4	9.0	

法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表-2〕のとおりです。
 応募者数8,736名中受験者は25,713名で、合格者は7,122名でした。合格率は27.70%、平均点は50.34点で、前回(2015年6月)に比べて、合格率は3.73ポイント下回り、3級試験としてはやや低い結果になりました。
 最高点は100点で、能登道枝さん(北陸銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。
 正解率が30%以下となった問題は、〔問題-1〕で択一正答率96.64%・平均点6.64点、〔問題-2〕で択一正答率96.12%・平均点5.56点、〔問題-3〕で択一正答率90.90%・平均点6.64点でした。この理由としては、論点がシンプルだったことが挙げられます。
 (手形・小切手)の分野で委託契約を問う問題がありました。委託の考え方は当座勘定、内国為替などでも基本となりますので、しっかりと押さえておいてほしいところです。また、前回、(手形・小切手)の分野で電子記録債権譲渡の問題を出題しましたが、今回は民法上の問題となりました。前回はまとまった受験者も多かったようですが、今回は学習された方が多かったようです。正解率はいずれも50%を超えていました。
 今後も、委任契約のような金融法務の基本となる考え方も出題のポイントとなりますので、過去問題だけでなく、基本を押さえつつ体系的に学習してください。

〔表-2〕法務3級・業別別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

年齢	勤続年数	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
応募者数	1,318	8,751	906	2,971	6,538	1,413	2,447	691	17	3	406	2,965	12,836						
受験者数	459	30,451	315	10,334	23,857	4,922	8,524	2,490	0	0	1,411	28,200							
受検率	1,289	9,017	757	2,624	6,198	1,258	2,271	618	14	3	370	2,314							
受験率	96.28	81.61	83.55	86.32	90.28	89.03	92.81	89.44	82.35	100.00	91.13	78.31							
合格者数	778	2,332	323	562	1,365	210	564	175	7	3	123	770							
合格率	61.31	29.09	42.67	21.42	20.11	16.69	24.83	23.62	50.00	100.00	33.24	33.71							
平均点	46.37	42.64	42.60	39.69	40.41	39.37	41.74	39.61	41.75	0.00	39.22	42.56							
年齢	23.7	30.6	25.5	35.6	47.91	46.08	44.92	50.93	57.00	68.00	51.28	50.93							
勤続年数	0.6	3.3	8.5	4.2	5.1	6.7	11.1	4.5	9.9	0.3	16.1	7.5							

法務4級

「法務4級」の成績結果は、〔表-3〕のとおりです。
 応募者数3,985名中受験者は3,794名で、合格者は2,888名でした。合格率は70.85%、平均点は69.76点で、前回に比べて、合格率は2.22ポイント下りました。
 最高点は100点で、鹿田恵加さん(福岡銀行)、橋本千晶さん(イオン銀行)、大槻洋也さん、菊谷美美さん(以上、播州信用金庫)、古谷真由美さん(高知信用金庫)、真野秀彦さん(中国労働金庫)、荒木重行さん(個人申込)の7名が個人最優秀賞を受賞されました。
 正解率が30%以下となった問題は、〔問題-1〕で択一正答率96.64%・平均点6.64点、〔問題-2〕で択一正答率96.12%・平均点5.56点、〔問題-3〕で択一正答率90.90%・平均点6.64点でした。この理由としては、論点がシンプルだったことが挙げられます。
 (手形・小切手)・(内国為替)については該当問題がありません。〔預金〕については、〔問題-2〕委任契約の1問、〔融資〕については、〔問題-9〕抵当権の実行の2問の計2問でした。
 今回は、〔預金〕の分野で委任契約を問う問題がありました。委任の考え方は当座勘定、内国為替などでも基本となりますので、しっかりと押さえておいてほしいところです。また、前回、(手形・小切手)の分野で電子記録債権譲渡の問題を出題しましたが、今回は民法上の問題となりました。前回はまとまった受験者も多かったようですが、今回は学習された方が多かったようです。正解率はいずれも50%を超えていました。
 今後も、委任契約のような金融法務の基本となる考え方も出題のポイントとなりますので、過去問題だけでなく、基本を押さえつつ体系的に学習してください。

〔表-3〕法務4級・業別別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

年齢	勤続年数	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
応募者数	24	323	0	424	1,379	417	778	200	0	1	3	380	3,985						
受験者数	0.60	8.11	0.00	10.64	34.60	11.87	19.52	5.02	0.00	0.03	0.08	5.94	10,000						
受検率	24	30.36	0	39.5	1,336	456	739	194	0	1	3	338	3,974						
受験率	100.00	93.56	0.00	93.16	96.58	96.41	94.99	97.00	0.00	100.00	100.00	88.95	92.91						
合格者数	23	227	0	298	1,018	287	390	177	0	1	2	269	2,688						
合格率	95.83	73.70	0.00	75.44	76.20	62.94	52.77	89.18	0.00	100.00	66.67	79.59							
平均点	79.08	70.71	0.00	70.61	72.43	67.04	61.91	77.55	0.00	60.00	69.33	73.25							
年齢	23.0	24.4	0.0	23.2	24.5	23.7	26.2	25.0	0.0	40.0	44.0	32.0							
勤続年数	0.4	1.8	0.0	1.1	2.1	1.6	2.9	1.2	0.0	22.0	24.0	6.2							

財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表-4〕のとおりです。
 応募者数8,692名中受験者は6,724名で、合格者は1,602名でした。合格率は23.83%、平均点は45.60点で、前回(2015年6月)に比べて、合格率は4.63ポイント下回り、平均点は0.95点下りました。
 最高点は94点で、橋本実佑さん(北陸銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。
 ひとつも平均点が低かった問題は、〔問題-8〕売上・利益増減分析でした。次に低かった問題は、〔問題-1〕各種金融商品の期末評価額でした。
 〔問題-8〕売上・利益増減分析は、売上総利益の増減分析に関する問題です。売上総利益の増減要因は、「売上総利益＝売上高－売上原価」の算式にもつき、売上高の増減と売上原価の増減から分析して分析することができます。さらに、売上高(＝売上単価×売上数量)の増減を売上単価と売上数量の増減から分析し、売上原価(＝単位当たり売上原価×売上数量)の増減を単位当たり売上原価と売上数量の増減から分析することが本問の趣旨です。本問の趣旨を理解していない答案や白紙の答案が多々見受けられました。
 〔問題-1〕各種金融商品の期末評価額は、(1)各種金融資産の期末評価額の算出と(2)その他有価証券の評価差額の会計処理について問う問題です。(2)の会計処理については「全額純資産直入法」と「部分純資産直入法」をそれぞれ正確に理解していない答案が目立ちました。
 一方で、〔問題-5〕個別貸借対照表の「負債・純資産の部」の作成、〔問題-6〕収益性指標による時系列分析、〔問題-7〕安全性指標による比較分析、〔問題-9〕生産性分析、〔問題-10〕キャッシュ・フロー計算書の作成(間接法)と分析は、過去に類似問題が出題されているため、平均点は高くなりました。
 全体的に問題が難しくなっており、平均点は低くなりました。問題文が求める解答ができるよう問題演習を行ってください。

〔表-4〕財務2級・業別別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

年齢	勤続年数	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
応募者数	203	3,711	369	957	2,037	106	117	24	34	0	18	1,116	8,692						
受験者数	234	42,699	4,251	11,011	23,441	1,222	1,335	0.28	0.39	0.00	0.21	12,844	10,000						
受検率	178	3,008	345	712	1,664	83	102	18	22	0	12	678	6,724						
受験率	87.68	81.66	66.40	74.40	79.19	83.18	75.00	64.71	0.00	66.67	60.75	77.92							
合格者数	77	470	77	143	289	15	33	8	15	0	9	296	1,602						
合格率	43.26	22.27	31.43	20.98	17.83	18.07	32.35	44.44	66.67	0.00	59.00	39.23							
平均点	56.10	46.08	43.97	42.16	41.98	33.04	51.01	52.00	62.36	0.00	59.67	52.58							
年齢	26.2	30.3	33.4	33.5	34.9	36.7	34.9	35.4	32.5	0.0	44.5	32.5							
勤続年数	2.9	7.4	9.8	10.4	11.9	13.2	11.9	12.3	7.8	0.0	19.7	8.5							

財務3級

「財務3級」の成績結果は、〔表-5〕のとおりです。
 応募者数13,723名中受験者は11,684名で、合格者は1,828名でした。合格率は13.26%、平均点は57.80点で、ともに前回(2015年3月)を上回りました。
 最高点は100点で、杉山誠さん(整理回収機構)、江真由子さん(短期信用金庫)、中井晃さん(さひめ南農協同組合)、渡邊美紗子さん(個人申込)の4名が個人最優秀賞を受賞されました。
 正解率が30%以下となった問題は、(所得税)分野では〔問題-12〕居住用不動産を譲渡した場合の特別控除と軽減税率の特例の1問、(相続税・贈与税)分野では〔問題-23〕生前贈与の扱い、〔問題-24〕相続税の2割加算対象者の2問の計3問となりました。正解率は92点で、〔問題-12〕については所有期間と適用税率の関係が整理できていない受験者が多々見受けられました。不動産の譲渡についても、短期譲渡の30%、長期譲渡の15%、居住用譲渡の場合の軽減税率10%の3つの税率とその適用要件を理解しておくことも、各税率と居住用譲渡の場合の3,000万円特別控除との適用関係を把握しておくことが重要です。〔問題-23〕は最近問題解説に類題の出題がなかった問題ですが、税額計算を行ううえでは必ず押さえておきたい知識の一つであり、相続税額の計算の流れとともに理解を深めおく必要があります。〔問題-24〕は従来の出題よりも応用力が試されるものですが、渉外業務においてさまざまなケースに出会う可能性も考えられますので、本問のような税額計算上重要な規定に関しては、適用要件を正確に理解しておく必要があります。
 本種目を受験する際の学習にあたっては、合格後に知識を活用すること念頭に置き、各税法ごとに税額計算をする流れのなかで学習を行うことが望まれます。各問題は実務において重要な論点を押さえておくことで、問題解説を繰り返し学習することで個別の規定に関する知識の定着を図るとともに、通信講座や参考書等で体系的に理解を深め、業務知識を着実に身に付けるよう心がけてください。

〔表-5〕財務3級・業別別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

年齢	勤続年数	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
応募者数	174	4,671	445	1,371	2,814	573	1,091	178	178	2	237	1,989	13,723						
受験者数	127	34,074	324	9,990	20,511	418	7,955	130	130	0	170	14,618	10,000						
受検率	89.08	89.30	73.26	85.34	87.42	82.55	91.66	85.39	74.04	100.00	85.65	73.30							
合格者数	107	2196	178	464	980	178	488	77	64	0	114	871	5,228						
合格率	69.03	52.93	54.60	39.66	39.84	37.63	48.80	50.66	65.79	50.00	56.16	59.74							
平均点	66.18	59.00	59.71	53.74	54.23	51.19	58.18	58.42	65.35	48.00	61.80	62.38							
年齢	25.7	26.9	29.8	28.0	29.6	33.2	33.6	28.5	26.0	25.5	40.2	31.3							
勤続年数	2.1	4.1	5.8	5.5	6.9	10.4	10.1	4.5	10.5	1.0	17.4	7.0							

証券3級

「証券3級」の成績結果は、〔表-6〕のとおりです。
 応募者数1,507名中受験者は1,282名で、合格者は533名でした。合格率は35.46%、平均点は54.58点となりました。
 最高点は92点で、大岩祥子さん(愛知県農業協同組合連合会)が個人最優秀賞を受賞されました。
 正解率が30%以下となった問題は、(証券業務)分野では〔問題-8〕日本証券業協会の諸規則等の1問、(証券流通市場)分野では〔問題-26〕わが国の公社債流通市場、〔問題-42〕株式の運用の2問、(資金調達・運用)その他分野では〔問題-46〕金融商品に関する会計処理、〔問題-47〕証券決済制度、〔問題-48〕投資運用業務、〔問題-49〕改正会社法の4問の計7問となっています。解答状況をみると、多くの受験者が問題解説をなく学習も、重要な点を押さえていることが伺われます。各問の出題内容は、最近の重要な論点も出題されていますが、法改正などタイムリーかつ、重要な論点も多く出題されていることが、過去問題を十分に学習すること、業務知識を着実に身に付けるよう心がけてください。
 本種目を受験する際には、金融取引関連法規制に關し、法令レベルの知識を身に付けておくことが必要です。最近の制度変更に関する内容や、最近の重要な論点も出題されていますので、一定スケジュールの変更の付け、金融商品取引市場全般の動きを把握しておくことも重要です。各問題は、実務において重要な論点を押さえていますので、通信講座や参考書等の学習と併せて問題解説を繰り返し学習することで、業務知識を着実に身に付けるよう心がけてください。

〔表-6〕証券3級・業別別成績一覧表 (合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

年齢	勤続年数	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
応募者数	52	742	64	129	114	16	85	17	18	9	4	257	1,507						
受験者数	3.45	49.24	4.25	8.56	7.56	1.64	1.13	1.13	0.60	0.27	17.05	10,000							
受検率	46	658	57	104	96	12	81	15	13	9	4	187	1,282						
受験率	88.46																		